

職能科通信 49号

2021年5月発行

職能科通信

検索

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2571

新年度を迎えて

新型コロナウイルスにより国内はもとより、全世界的に未曾有の困難を迎えておりますが、助け・支えあいながら、一致団結して乗り越えていきましょう。

職能科は、神奈川県リハビリテーション病院に組織され、入院・外来患者さんと七沢自立支援ホーム（障害者支援施設）利用者さんへ職業リハビリテーションサービスを提供しております。職員は9名（社会福祉士・精神保健福祉士・作業療法士）ですが、定年退職と人事異動により7名でのスタートとなりました（写真1）。



写真1 職能科職員

対面での打ち合わせ、講習会や交流会が難しい社会情勢の中、この通信を通して私たちの活動をご報告させていただき、さらにサービスの質の向上に向けた研鑽を行ってまいりますので、今後とも、ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2020年度の支援のまとめ

2020年度は担当医からの訓練指示書（処方）614件を受け支援を行いました。所属別内訳は、入院354件、外来254件、七沢自立支援ホーム15件でした。実人数499人の障がい別内訳では、外傷性脳損傷・脳血管障がい・脳疾患など脳損傷の方が78%、脊髄障がい・その他（難病など）の方は22%でした（図1）。また、就職・復職をされた方は80名でした（表1）。

（科長 松元 健）

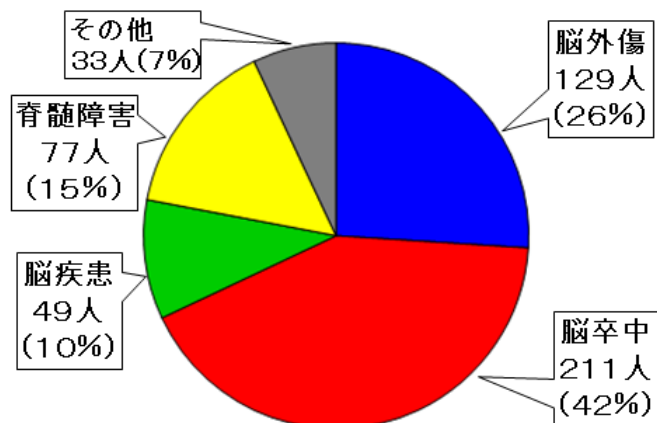


図1 2020年度 障がい別実人数内訳

	新規就労	復職	自営	計
脳外傷	1	15	2	18
脳卒中	6	40	5	51
脳疾患	0	4	1	5
脊髄障害	0	3	1	4
その他	1	0	1	2
計	8	62	10	80

表1 2020年度 就労者数

【職員募集のお知らせ】 当院ホームページよりお申し込みください

- ・「職業指導員（契約職員）」…職能科利用者さんへの作業支援
- ・「職業指導員（非常勤職員）」…特別支援学校生徒さんへの職能評価（受託評価）

【利用者の傾向】

図 2 は、ここ 10 年の疾患別の利用者数の推移を表したグラフです。脳疾患や脊髄損傷の方は例年 10～15%とほぼ横ばいですが、脳卒中の方の割合は昨年度から増加しています。昨年度から職能科では治療と仕事の両立支援によるサービスを開始し、病院としても若年脳卒中患者の就労（復職）支援に力を入れています。

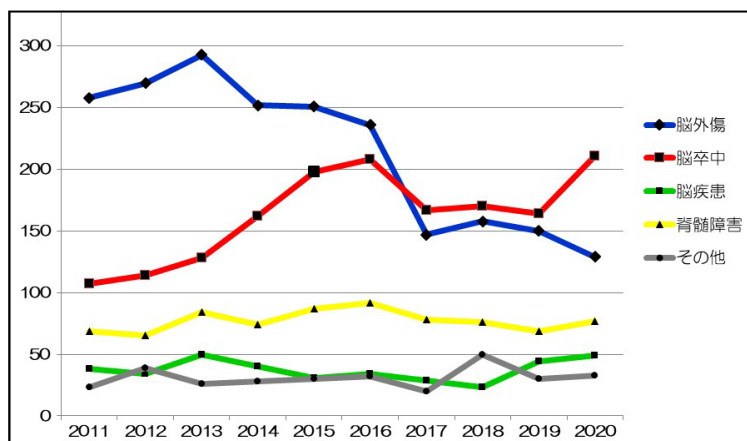


図 2 利用者数の推移

今後もこの傾向は続くと思われます。利用者の疾患が脳卒中、脳外傷、脳疾患で 8 割程を占めることからわかるように、患者の多くは何らかの高次脳機能障がいを抱えた方です。これまで蓄積してきた高次脳機能障がいの方々への就労・社会参加に向けた支援のノウハウに、現状に即した訓練・支援の手法を加えながら、利用者にとってより良いサービスの提供ができるよう努力してまいりたいと考えています。（総括主査 今野 政美）

【就職者の傾向】

図 3 の就職者数の推移のグラフをご覧くださいと分かる通り、職能科は病院組織に位置付けられている特徴から職場復帰される患者さんの利用が多い状況です。一方で、新規就労した患者さんが漸減しているのは、地域において就労移行支援事業所の数が増加して、活用できる資源が増加したことが大きな要因

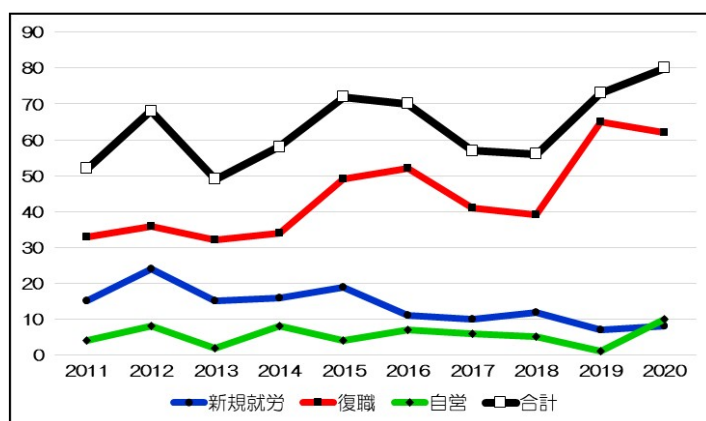


図 3 就職者数の推移

です。当院で障がいの自己理解を深めるプログラムを受けたのち、就労移行支援事業所で就職に向けたトレーニングを受ける流れが主流となっています。

直近の復職者の傾向として、企業のリモートワークの拡がりとともに、在宅勤務にて復帰される方が増加しています。身体麻痺や疲労しやすさによって通勤の負担が高い方々にとってはメリットが大きい一方で、オフィスで働く以上に自己管理能力が求められる側面があります。昨年度は在宅勤務者に必要とされる自己管理能力や就職・復職前に確認しておくべき職業上のスキルについて検討してきました。多様化する患者さんの働き方に応じたプログラムを開発することは、今後の職能科に課された役割の一つであると考えています。（支援リーダー 小林 國明）